

指 導 技 術		観 点 別 の 授 業 改 善 の 視 点			
教 師 の 指 導 (授業規律・指導技術・発問・板書・個別指導・ノート指導など)		関心・意欲・態度を向上させるための手だて	思考・判断を向上させるための手だて	表現・技能を向上させるための手だて	知識・理解を向上させるための手だて
導 入	<ul style="list-style-type: none"> ・チャイム着席をしっかりさせる。 ・英語を楽しく使う雰囲気作りとして「聞くこと」「話すこと」を中心に十分ウォーミングアップをする。 ・楽しく緊張感のある雰囲気で授業が進むように、テンポやリズムを心がける。 ・できるだけ英語を使って生徒とのコミュニケーションを図る(教室英語の充実を図る)。 ・本時の学習目標を提示する。 ・絵やフラッシュカード、ワークシートなど教材教具を工夫する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ピクチャカードやワークシートなどを活用する。 ・身近な話題や生徒の興味を引くような英文で導入する 	<ul style="list-style-type: none"> ・推測させる時間をしっかり与え、なぜそう思うのか、順序立て説明させる。 ・本時のねらいをしっかりと理解できるような提示や導入をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・簡単な英語の質問に即答させる。 ・前時に学習した表現を使って、自己表現活動を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・前時に学習した表現を復習し、自己表現活動をすることにより知識を定着させる ・ビンゴゲーム等を通して、単語の理解・定着を図る。 ・ノートの点検を行い自主的な学習を促す
展 開	<ul style="list-style-type: none"> ・本時のポイント文を使った豊かな表現活動ができるように、教科書を使って新出語と新出表現をしっかり定着させ、応用できるまで繰り返し練習する。 ・ターゲットセンテンスを用いたパンプラクティスからコミュニケーションを重視した活動へと発展させる。 ・4技能の連携を図りながらコミュニケーション活動を行う。活動の目的やルールを明確にして取り組ませる。 ・ペア練習やグループ練習を多く取り入れ、生徒が協力したり教え合ったり競ったりしながら練習に取り組めるようにする。 ・発問の仕方を工夫して、多くの生徒に発言の機会を与える。 ・計画的に長文読解を取り入れ、複数の情報を関連づけて読み取ったり、情報を整理するような活動を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ピクチャカードやフラッシュカードを活用する。 ・ペアやグループでの練習、活動やゲームを取り入れ、英語でコミュニケーションする楽しさを味わい、進んで英語を使おうとする気持ちを喚起する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・文章の構成や話の流れ、人々の考え方について深く考えさせる。 ・Listening Point やReading Point を提示してまとまった英文を読んだり、聞いたりしてその内容を理解させる。 ・複数の情報を関連づけて読み取ったり、情報を整理するような活動を取り入れる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・音読練習にしっかりと取り組ませる。 ・聞いたこと、読んだことを声に出したり書いたりして表現させる。 ・一問一答ではなくもう一文付け加えて会話を発展させるような練習をする。 ・自然な英語を多く聞かせ、英語を聞き取る力を向上させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書本文等を何度も読ませ、暗記させる。 ・文の語順や構造を簡潔に明確に説明する ・ターゲットセンテンスを用いて友だちやALTと会話をする活動を行う。 ・ワークシートやまとめのプリント等、分かりやすく工夫し、活用する。
ま と め	<ul style="list-style-type: none"> ・自己表現活動のまとめとして「書くこと」の指導を十分行う。 ・ノートのまとめを行わせる。 ・ワークブック等(学習したユニットに関わる箇所)に取り組ませる。 ・発展的な長文読解を計画的に取り入れ、複数の情報を関連づけて読み取ったり、情報を整理するような活動を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・わからないことを明確にするために友だちやパートナーと助け合って学習する時間を与える。 ・簡単な自己評価や相互評価を取り入れ、今日の学習を振り返る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークブック等を使ってわからないところ、間違ったところを確認させる。 ・プリント学習を継続することにより、考える力を育てる。 ・複数の情報を関連づけて読み取ったり、情報を整理するような活動を取り入れる 	<ul style="list-style-type: none"> ・インタビュー等の活動を通して得た情報を英語で話したり、書いたりしてまとめさせる。 ・既習の表現を使い身近なトピックをテーマにして、まとめたりや工夫のある自己表現活動をさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な単語や文型を繰り返し書く練習を継続的に行って、基礎的な知識を身に付けさせる。 ・ワークシートやワークブックを活用し基礎的な知識の定着を図る。 ・単語テストの練習や予習復習を課題として出し、家庭学習の習慣を身に付けさせる。